



禁煙は愛!

健康かわら版

塩谷地区休日当番表

-保存版-

平成28年4月～
平成28年9月

発行日：平成28年4月1日

発行：塩谷郡市医師会(028-682-3518)

塩谷地区夜間診療室 18時30分～21時30分

日曜
祝日

4月・6月・8月
5月・7月・9月

塩谷病院 (0287-44-1155)
黒須病院 (028-682-8811)

土曜

4月～9月

黒須病院
(028-682-8811)

塩谷地区の休日当番医(昼間)

月日	矢板市(0287)	塩谷町(0287)	さくら市(028)	高根沢町(028)
4月	3日(日) 矢板南病院 48-2555	植木医院 45-0558	西内科医院 682-8920	菅又病院 676-0311
	10日(日) かわしま循環器内科 43-5470	尾形医院 45-2222	岡医院 681-1251	高根沢中央病院 675-1133
	17日(日) 村井医院 43-0064	風見診療所 46-0656	檜山医院 682-2730	深澤クリニック 676-0671
	24日(日) 村井胃腸科外科クリニック 40-3055	大和田内科 45-2411	小林医院 686-2061	中津川循環器科内科クリニック 675-7521
	29日(金) かるべ皮フ科小児科医院 43-1210	*	おのこどもクリニック 681-1600	越井クリニック 680-1133
5月	1日(日) なかしまクリニック 48-7701	戸村医院 46-0022	森島医院 682-2116	菅又病院 676-0311
	3日(火) 上田医院 43-7766	*	高瀬小児科医院 682-5511	小林内科医院 675-2485
	4日(水) 後藤医院 44-2323	*	花塚クリニック 686-7667	にいたに内科 675-6515
	5日(木) 橋本医院 43-0406	*	根本医院 682-2800	倉持整形外科内科宝積寺 675-0033
	8日(日) 池田クリニック 43-0207	植木医院 45-0558	きぬの里クリニック 612-8710	高根沢中央病院 675-1133
	15日(日) 佐藤病院 43-0758	尾形医院 45-2222	氏家病院 682-2911	深澤クリニック 676-0671
	22日(日) 西川整形外科 48-2552	大和田内科 45-2411	半田クリニック 682-3270	中津川循環器科内科クリニック 675-7521
29日(日) 山田クリニック 48-1212	風見診療所 46-0656	佐野医院 686-2002	関根クリニック 612-7015	
6月	5日(日) 矢板南病院 48-2555	尾形医院 45-2222	佐藤クリニック 681-7666	菅又病院 676-0311
	12日(日) 尾形クリニック 43-2230	風見診療所 46-0656	中川耳鼻咽喉科医院 682-3291	高根沢中央病院 675-1133
	19日(日) かわしま循環器内科 43-5470	戸村医院 46-0022	仲嶋医院 681-7755	深澤クリニック 676-0671
	26日(日) 村井医院 43-0064	植木医院 45-0558	西内科医院 682-8920	中津川循環器科内科クリニック 675-7521
7月	3日(日) かるべ皮フ科小児科医院 43-1210	尾形医院 45-2222	岡医院 681-1251	菅又病院 676-0311
	10日(日) 佐藤病院 43-0758	風見診療所 46-0656	檜山医院 682-2730	高根沢中央病院 675-1133
	17日(日) 後藤医院 44-2323	大和田内科 45-2411	小林医院 686-2061	深澤クリニック 676-0671
	18日(月) 谷仲医院 48-0800	*	おのこどもクリニック 681-1600	関根クリニック 612-7015
	24日(日) 上田医院 43-7766	植木医院 45-0558	森島医院 682-2116	中津川循環器科内科クリニック 675-7521
	31日(日) 池田クリニック 43-0207	戸村医院 46-0022	高瀬小児科医院 682-5511	関根クリニック 612-7015
8月	7日(日) 矢板南病院 48-2555	尾形医院 45-2222	花塚クリニック 686-7667	菅又病院 676-0311
	11日(木) 尾形クリニック 43-2230	*	根本医院 682-2800	まなか医院 675-4123
	14日(日) 橋本医院 43-0406	大和田内科 45-2411	きぬの里クリニック 612-8710	高根沢中央病院 675-1133
	21日(日) かるべ皮フ科小児科医院 43-1210	風見診療所 46-0656	氏家病院 682-2911	深澤クリニック 676-0671
	28日(日) 後藤医院 44-2323	植木医院 45-0558	半田クリニック 682-3270	中津川循環器科内科クリニック 675-7521
9月	4日(日) 西川整形外科 48-2552	尾形医院 45-2222	佐野医院 686-2002	菅又病院 676-0311
	11日(日) なかしまクリニック 48-7701	植木医院 45-0558	佐藤クリニック 681-7666	高根沢中央病院 675-1133
	18日(日) かわしま循環器内科 43-5470	大和田内科 45-2411	仲嶋医院 681-7755	深澤クリニック 676-0671
	19日(月) 山田クリニック 48-1212	*	中川耳鼻咽喉科医院 682-3291	菅又病院 676-0311
	22日(木) 谷仲医院 48-0800	*	西内科医院 682-8920	阿久津医院 675-2511
	25日(日) 上田医院 43-7766	戸村医院 46-0022	岡医院 681-1251	中津川循環器科内科クリニック 675-7521

◇休日の眼の病気は NHO栃木病院(028-622-5241) 事前に電話で確認して下さい。 診療日 日曜・祝日 10時～17時

注：休日当番医は変更される場合がありますので、広報や新聞等で確かめ下さい。塩谷郡市医師会ホームページ(スマートフォン対応)でも確認できます。

もう受けましたか？ 胃がんリスク検診

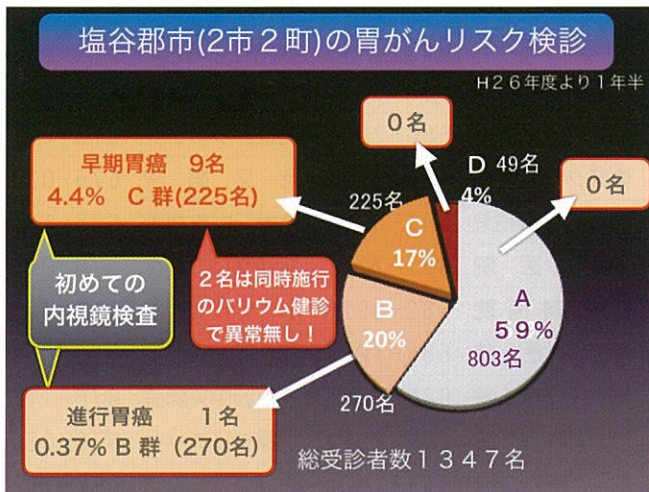
胃がんリスク検診が塩谷郡市(2市2町)で平成26年度より始まり、1年半が経過しました。この間(H26年6月～H27年12月)の結果をお伝えします。

胃がんリスク検診とは

胃がんになりやすいかどうかを血液検査で調べることができる検査です。血液検査で胃にピロリ菌がいるかどうかと胃粘膜から分泌されるペプシノーゲンを調べます。バリウムを飲む検査と違って気軽に受けることができるのが特徴です。

検診の結果が出たらどうするの？

A群→B群→C群→D群の順で胃がんになる確率が高くなります。B、C、D群と判定された方は胃カメラを受けて現在の胃炎の状態や胃がんなどの病気がないかを調べてください。もし、ピロリ菌が胃炎や胃潰瘍の原因になっている場合は飲み薬でピロリ菌を除菌してください。ピロリ菌を除菌することで胃がんになるリスクが半分以下になるからです。



2市2町の胃がんリスク検診の結果

検診対象人数は11618名で、受診者は1347名、受診率は11.6%でした。1347名の受診者のうち“B”、“C”、“D”の判定結果となり、胃カメラでの精密検査が必要となった方は554名でした。その内、塩谷郡市内で胃カメラを施行した方が186名で34.2%しかいませんでした。その精査の胃カメラで10名の胃がんが見つかったのです。

- ①胃がんが見つかった10名の方は、全員が“初めて胃カメラを受けた方”ということです。
- ②9名が胃カメラで根治が望める早期胃がん、1名が進行胃がんでした。
- ③9名の早期胃がんの内2名は同時施行のバリウム検診では異常なし!でした。

塩谷郡市(2市2町)の胃がんリスク検診 H26年度より開始、1年半 矢板市、塩谷町、さくら市、高根沢町		
	胃がんリスク検診	バリウム検診
対象人数	11618	60841
総受診者数	1347	7841
受診率	11.6%	12.9%
要精検 (B, C, D)	554	554
精検受診率	34.2%	68.4%
胃がん発見者数	10名	9名
がん発見率	0.74%	0.11%

がん発見率 6.7倍 内視鏡>>バリウム
課題は受診率、特に 精検受診率!

同時期に行われた胃がんリスク検診とバリウム検診を比較した表を見てもらうとわかるように胃がんリスク検診の方が、胃がん検出率が高かったのです。

“B” “C” “D” 判定の方は胃カメラ検査を。

これまで胃カメラ未経験の方が検査を受ける機会が得られ、しかも早期がん状態での発見の方がほとんどであったことは良かったことです。ただ、大変気になる事があります。“B”、“C”、“D”判定となり胃カメラが必要だったにも拘わらず検査を受けていない方が368名!“65.8%”もいる事です。これらの方は胃がんが潜んでいるのに放置している可能性が高いのです。今回胃がんが見つかった方々と同じ確率で考えると約20名近く胃がんの方がいる可能性があります!

判定結果を再確認し、必ず胃カメラを受けて下さい!

定期的な胃カメラ検査が重要

要精検者でピロリ菌を除菌された中で、1年後の胃カメラで早期の胃がんが見つかった方もいらっしゃいました。大切な事は、この胃がんリスク検診は1度行えば良いものであり、結果でもらった“A”、“B”、“C”、“D”のリスク判定は一生変わりません。“B”、“C”、“D”の結果が出た方はもちろん、ピロリ菌治療した方も、定期的に胃カメラを受けて下さい。

5歳刻みで受診となるため、まだ受診の順番が回ってきていない方が多いと思いますが、これから胃がんリスク検診となる方、もう終わったけど、まだ精査(胃カメラ)を行っていない方、ぜひ検診を利用して、胃がんを早期発見し、健康な身体を取り戻して下さい。早期に見つければ胃がんは怖くありません!検診を上手に利用して胃がんを撲滅しましょう!